

参議院議員

高良鉄美

後援会ニュース

高良鉄美後援会(沖縄事務所)

〒903-0803 沖縄県那覇市首里平良町1-18
津嘉山ビル102号室
TEL.098-885-7171 FAX.098-885-7181

東京事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館712号室
TEL.03-6550-0712 FAX.03-6551-0712

2020年1月発行 N0.1

[メール]

takara-okinawa@takara-okinawa.jp

[タカラ鉄美 公式サイト]

www.takara-okinawa.jp



感謝の思いと責任の重みを携えて「すべては沖縄のために」

参議院議員 高良鉄美



皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年、年明けから参院選候補者の問題で、スタートラインにつくまで皆様の大変なお力添えをいただきました。さらには、スタート後も皆様方の超短期間の力強い結集によって、まさにミラクルなワン・チームの働きで、当選を勝ち取ることが出来ました。あらためて感謝申し上げます。

選挙戦を振り返ると、県選出国會議員「うりずんの会」の方々のひとかたならぬ支えがありました。暑期中、何度も応援演説に駆けつけ、声を張り上げて訴える姿には本当に頭が下がります。特に「平和の一議席」のバトンタッチの意義を何度も訴え、各地に同行していただいた糸数慶子前参議院議員には、大きなエネルギーをいただき感謝に堪えません。また激務の中で、時間を割き、西日の暑期中で選挙カーから手を振りながら、「タカラ」を連呼していただいた玉城デニー知事の姿も目に焼き付いています。那覇市長、豊見城市長、南城市長をはじめオール沖縄系の首長の方々、各地で我が事のように頑張っていたいただいた県議、市町村議員の皆さま、感謝「神謝」です。

経済界の皆様にもお話を聞き、現場や課題を説明していただき、あらためて「すべては沖縄のために」のスローガンに思いを致しました。また、各市町村の商店

街、市場や漁連などを巡り、応援の言葉をいただきました。宮古、石垣、与那国、久米島では労組や市民グループの方々とお話することができました。離島の中には、選挙期間中に訪問することが出来なかった島々もあって、心残りでした。多くは当選後に訪れましたが、まだ足を運べていない島には必ず訪れたいと思います。

当開票日には選挙速報番組のタイトルが画面に表れるとほぼ同時に「当確」が出ました。オール沖縄の大きな力を改めて感じ、感謝の思いと責任の重さが私の心を直撃しました。それは、運動母体としてのオール沖縄、各地の島ぐるみの皆様はもちろん、保守系でありながらも話を聞いて、応援をくださった方々。やんばるルーツ、石垣ルーツ、那覇育ちの縁(ゆかり)などで支えてくださった方々。女性団体や障がい者グループ、市民サークル、学者・研究者の会、教え子たち、そして親戚等々。紙幅の都合で挙がってはいない、本当に多くの方々への感謝と責任の念だったのです。この感謝の思いと責任の重みを携えて、高良鉄美、しっかりと「すべては沖縄のために」頑張っています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

高良鉄美後援会 共同代表のご紹介



照屋 義実



稲嶺 進



東門 美津子



比屋根 照夫



垣花 豊順



仲里 利信

共同代表あいさつ 照屋 義実

平成から令和へと元号が移った。

天皇が変わっただけで他に変わったことがあるわけでもないが、何かしらいつの間にか時代が一新したかのような錯覚におちいつている。これが、マスコミを総動員しての「印象操作」の効果というものだろうか。この印象操作に抗うように、去る参院選で沖縄県民は、「平和の一議席」をまもり続けてきた糸数慶子さんの後継として高良鉄美さんを当選させ参議院に送った。

昨年九月の県知事選挙から県民投票を挟んでほぼ一年続いた数々の選挙戦のしめくりとして絶対負けられない選挙だったが、県民は権力と闘う魂の象徴として帽子を被り続けてきた高良さんに沖縄

の将来を託した。

参議院議員になっても堂々と帽子を被り続けて国会内をかっ歩する高良さんは、実に頼もしい。委員会での第一声も「法の支配とは何か」と、その実質を問う質問だった。

安倍政権がいつまで続くかわからないが、一日も早く退陣に追い込み憲法の金看板である「国民主権」を尊重し実行する政権の実現を待ち望みたい。

その為にも、今や高良さんのシンボルともなった帽子を被り続け、全国民に「私が帽子を被り続ける意味」を問い続けていってもらいたい。解散のない参議院議員の特権を生かし十分に力を蓄えながら遺憾なく力を発揮し奮闘精励されたし、と新年のスタートにあたり心からのエールを送るものです。

参院選を振り返って

後援会事務局長 平良 識子
(那覇市議)



ぐすーよう ちゅうーがなびら。

去る7月の参院選では、皆様からの大きなご支援により、糸数慶子前参議院議員の平和の一議席を守り高良鉄美さんを当選させていただきましたことを、心より感謝申し上げます。

辺野古反対の民意を何度も示し続ける沖縄で、今回も絶対に負けてはならない選挙でありました。他方で、日本国憲法下を目指したこの沖縄から、安倍政権が改憲を公約に掲げ、憲法が戦後最も危機的状況にある中で、憲法学者として全国的活躍してきた高良鉄美さんを国会に送る意義を強く感じるものでした。

今参院選を振り返り、印象的なことの一つは、オール沖縄の結束力でした。議員選挙でかつてないほど、オール沖縄を組織する政党、会派、労組団等が総力戦で取り組んでいただき、様々な困難をともに乗り越えてくださったことを心から感謝するばかりでした。二つ目

は、高良候補の温厚な人柄とバイタリティーです。初めての選挙で全県選挙を短期間で闘わざるをえない状況で選対本部は常に厳しい緊張感の中でしたが、いつも候補者が笑顔で、また誰よりも元気があり、苦しい選挙戦を楽しく乗り越えられたことには候補者に救われたと感じるものでした。

様々な場面で見せる父親として、教育者としての眼差し、大学教授として重責ある仕事研究に取り組みながら、シングルファーザーで3人の子育て、毎日の料理やお弁当作り、PTA会長として地域の子どもの支援活動に取り組んできた経験を大切にしてきたんだと感じることが多く、子どもの貧困問題や子どもたちの学びの支援の国の予算措置については、毎日の街頭演説でも特に力が入っていました。

さて国会に入り法務委員会で精力的に活動しており、特に毎回女性支援にかかる課題を取り上げており、高良さんの専門性ある法的知見を活かした国会活動を心から期待しているところです。

高良鉄美参議院議員の一議席は、沖縄のみならず、日本の宝になると確信しています。すべては沖縄のために、全力で取り組む高良鉄美さんへの増々のご支援を、ゆたさるぐとううにげーさびら。

選挙振り返り



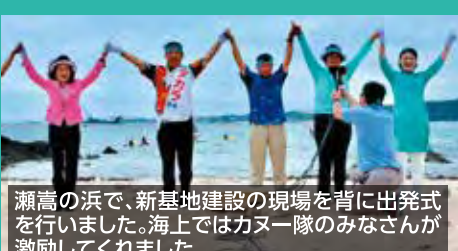
5月7日に出馬会見



沖縄の運動にユーモアは欠かせません。各地で笑顔と元気をもらいました。



7月1日、国政野党の党首が集結して大演説会を行いました。打倒安倍政権に向けて団結を固めました。



瀬高の浜で、新基地建設の現場を背に出発式を行いました。海上ではカヌー隊のみなさんが激励してくれました。



なんと私の長女は城間市長の教え子です。親子とももお世話になりました。



5月7日に出馬表明をし、それから朝のスタンディング・遊説活動を始めました。



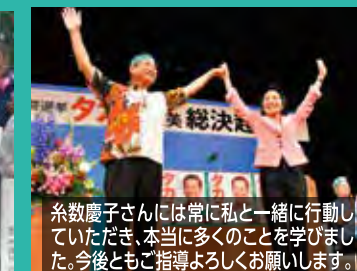
5月20日の事務所開き。たくさんの方がかけつけてくれました。



糸満のミスハーレーと。運動の中で様々な出会いがありました。



「命どろタカラ」をスローガンに、平和憲法を守ることの重要性を各地で訴えました。



糸数慶子さんは常に私と一緒に行動していただき、本当に多くのことを学びました。今後ともご指導よろしく願います。



7月4日、いよいよ告示の日を迎え、故郷の備瀬で御願をして、瀬高の浜に向かいました。



私と妻の出身地であるやんばるのみなさんも精神的に動いていただき、熱く支えてくれました。



琉大時代の教え子の玉城健一郎さんと。選挙期間中は、たえず頼もしい教え子たちが私を支えてくれました。



ゲート前のみなさんにも激励していただき、勝利を誓いました。文子おばーありがとう!



お年寄りの方にも私の演説を聞きに来てくれました。パワーをいただきました!



デニー知事と屋良代議士とのセッションはとて素晴らしい思い出です。機会があれば第2弾も?



嵐の日もマイクは離しませんでした!



選挙を通じて、私も長女も握手が上手になりました。



選挙を通じて、私も長女も握手が上手になりました。



デニー知事を支える女性議員のみなさんにも多くの力添えをいただきました。



久米島でも多くのみなさんに激励していただきました。



与那国でも演説をさせていただきました。



公設市場でも演説をしました。



石垣でも女性のみなさんのパワーは凄かったです!



宮古でもたくさんの方々が集まってくれました。たんでいがー、たんでい!



7月20日のラストスパート大集会では、沿道を埋め尽くすほどたくさんの方々が応援に来てくれました。感極まる瞬間でした。



番外編。ベテランの玉城満県議はこんなグッズもお持ちでした。さすがです。



7月21日、当確が出て、会場の皆さんとカチャーシーで喜びを分かち合いました。右も左も分らない私を、本当にたくさんの方々が温かく支えてくれました。何より、「平和の一議席」を守り抜くという決意とともに、県民一丸となって走り抜けた選挙だったと思います。

参議院議員選挙を経て



フルーザ沙葵(高良鉄美長女)

選挙時は大変お世話になりました。当選後、皆様にご挨拶できる機会がありませんでしたので、改めてこの場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。私は今回初めてきちんと選挙に関わったので、正直最初は選挙カーや街頭演説の意味がわかっていませんでした。ですが、一緒に回らせていただく中で、何より候補者自身が直接人々の顔を見て政治家の自覚を持つためにも必要な工程なのだと思います。現に皆様の温かいご声援を受けて父はどんどん顔つきが変わっていきました。(本当に日に焼けて色黒にもなりましたが)。私自身も感動して当時のエピソードをメモに残していたので、少し紹介したいと思います。

- ・ 沢山のタクシー運転手たちが窓を開けて親指を立ててくれた
- ・ 「父が応援しています！」と高校生が駆け寄ってくれた
- ・ サラリーマンが最初は仏頂面で聞いていたのに最後に笑ってくれた
- ・ おばあちゃんが「お風呂に入っていたけど声が聞こえたから」と出てきた。
- ・ お母さんたちがマンションのベランダから手を振ってくれた。

もちろんこの限りではありませんが、本当に政治家は人によって作られるんだと実感した出来事でした。当選後の父は東京と沖縄の往復で、やはり当時ほどには皆様と顔をあわせる機会が少なくなっていることでしょう。それでも常にあの時の皆様の表情を力に、国政の場でたたかっていることと思います。引き続き応援宜しくお願いします。

国会活動報告

夏の参議院選挙に当選し、秋の臨時国会から参議院議員として本格的に活動を開始、常任委員会は希望していた法務委員会に決まり、念願の憲法審査会にも入ることができました。

また、国会ごとに決まる特別委員会は、ODA（政府開発援助）に関する特別委員会に所属、伊波洋一議員との参議院会派「沖縄の風」としても精力的に活動しました。

初登院



国会報告



10月4日に開会した臨時国会(第200回国会)は、安倍総理の関与が厳しく追及されていた「桜を見る会」私物化疑惑から逃げるように、12月9日に閉会しました。

法務委員会も波乱の幕開けとなりました。大臣所信に対する質疑が初質問の予定でしたが、河井克行法務大臣が私の質疑予定日の朝に公職選挙法違反疑惑で辞任したため、仕切り直しの所信表明を行った後任の森まさこ法務大臣に対する質疑が、初めての質問となりました。

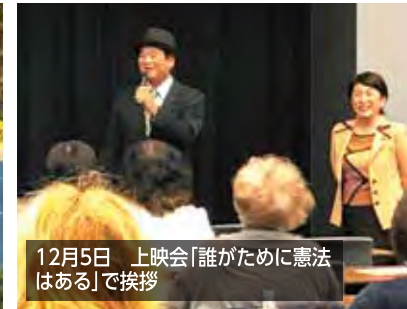
質問では、辺野古新基地建設の是非が問われた選挙で沖縄県民が幾度も反対を示してきたことを挙げ、特定地方にのみ適用される法律は、当該地方の住民投票による同意がなければ、国会はこれを制定することができないと定める憲法95条を示したうえで、建設を強行する政府の対応を厳しく批判しました。また、人権の保障と恣意的権力の抑制を主として全ての権力に対する法の優越を認める考え方の「法の支配」について質しました。人権や民主主義と密接に関わる「法の支配」については、今後も法務委員会で取り上げていくことを表明しました。このほか、死刑廃止、難民認定と入管問題、選択的夫婦別姓や通称使用、選択議定書、無戸籍問題、ジェンダー平等について質問しました。

ODA特別委員会と憲法審査会では審議は行われませんが、沖縄及び北方問題に関する特別委員会に所属する伊波洋一議員の差し替えで11月25日、首里城火災による被害状況を視察しました。

安倍総理の「桜を見る会」私物化疑惑では、野党各党・各会派が追及本部を設置し、国会での虚偽答弁や名簿を破棄した問題などを明らかにしました。追及本部は閉会中も開催し、税金の私物化問題の追及を続けています。



国会 県外活動



◆第200回国会 法務委員会質疑

今国会の委員会質疑は計7回、質疑時間は2時間20分でした。

日時	質問時間(分)	内容
11月12日	25	法務大臣の所信に対する質疑
11月14日	15	一般質疑
11月21日	15	給与法改正案(裁判官・検察官)質疑・採決
11月26日	25	一般質疑
11月28日	20	会社法改正案質疑
12月3日	15	会社法改正案質疑(参考人質疑)
12月3日	25	会社法改正案質疑・採決

—高良鉄美の—

憲法コラム



1

「僕が帽子をかぶった理由 (ワケ)」

皆様のお力で、国会へと押し上げていただき、初登院してから2020年元旦で5か月となりました。国会正門前では伊波洋一議員が出迎えに來られて、国会議員としての第1歩を踏み入れました。帽子をかぶったまま議事堂に入り、議員名のボタンを押し、初登庁となりました。実は、私は今も議事堂内でもかぶったまま通行していますが、本会議場と委員会室、理事会室では守衛から強制的に取るよう言われています。問題提起と意思表示の抵抗として、理事会室の私の座席前のテーブルには、委員会室に移動する際にポツンと帽子が残ったまま置かれています。

国会議事堂は、戦災を直接受けてはならず、議事堂自体は帝国議会議事堂であり、明治憲法下の制度の名残、慣例等が払しょくされていない面があります。参議院の本会議場は貴族院の議場であり、議長席の数段上には天皇の席が設けられています。国会の開会式は参議院議場で行われ、衆参700人以上の議員が参加すればあふれかえってしまいま

す。国民主権の日本国憲法の下では、7条2号に国会を召集することが天皇の「国事行為」になっています。しかし、これは召集の文書に御名御璽を押印して送付すれば完了するのであって、明治天皇が実際に帝国議會を招集し、召集の詔(みことのり)を述べた大日本帝国憲法とは、同じであってはならないはず。国会は主権者によって選出されたのであり、天皇が選挙によらずに勅撰した貴族院のあった帝国議會とは異なるのであって、形式的にも天皇がその権限で実際に国会を開く意図をもって開会すれば、憲法上疑義が生じます。

国会の傍聴規則も議場内規則も帝国議會のそれをそのまま継承しており、帽子、襟巻、外套(コート)、傘、杖を着用、携帯してはならない、とあります。臣民の時代の規則を、主権者の国民に適用しているのです。頭、首などにケガをしたり、傷があるなどの理由もあるでしょう。足が悪かったり、視覚障がいがあったり、杖が必要なこともあるでしょう。なぜこれらを原則禁止し、議長の許可に委ねているのでしょうか?金属探知機によって保安検査は済んでいるのです。

今回、重度の身体障がいのある方々が国会議員になりました。杖などを含め、傍聴規則、議場内規則の不合理的なものをあらためて議論の俎上にのせる必要があるのではないのでしょうか?この問題提起の意義として、帽子をかぶって抵抗してきた我が意を得たりの気持ちです。

活動記録スナップ

参議院議員となった高良鉄美の活動記録をまとめました。離島を含め、沖縄中を走り回っています！



7月26日 嘉手納爆音訴訟司法要請集会



7月26日 玉城知事表敬



9月20日 憲法講演



9月24日 基地懇国会議員団と宮古島保良弾薬庫予定地視察



9月24日 基地懇国会議員団と安和棧橋視察



9月24日 基地懇国会議員団と辺野古海上視察



10月2日 沖縄の風・石垣島行政視察平得大俣自衛隊基地建設予定地視察



7月27日 備瀬角力大会



7月28日 喜如嘉夏まつり



7月29日 うるま市激励会



8月3日 辺野古ゲート前県民集会



8月3日 八重瀬町激励会



8月6日 国頭村激励会



8月7日 南風原町激励会



8月9日 糸満市激励会



8月11日 沖縄大ヘリ墜落15年抗議集会



8月18日 糸数慶子さんお疲れ様の集い



8月19日 名護市激励会



8月20日 沖縄の風・宮古島行政視察長濱副市長と意見交換



8月20日 宮古島激励会



8月21日 沖縄の風・多良間島視察伊良皆村長と意見交換



8月22日 対馬丸慰霊祭



8月22日 翁長さんを偲ぶ会



沖縄の風・久米島行政視察 応援してくれたみなさんと



8月23日 沖縄の風・久米島行政視察久米島久米山工場視察



8月26日 中小企業シンポジウム



8月30日 伊波洋一激励会



9月2日 社大党・防衛局抗議、要請



9月7日 辺野古ゲート前県民集会



9月7日 辺野古海上視察



9月7日 高良鉄美事務所開き



9月28日 参議院議員 高良鉄美激励会



10月2日 沖縄の風・石垣島行政視察 市民懇談会



10月2日 石垣島激励会



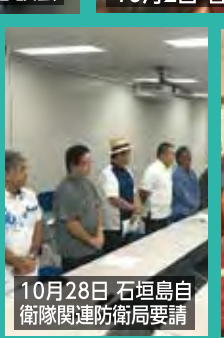
10月20日 大宜味郷友会一心会大運動会



10月20日 APALA交流会



10月27日 本部郷友会運動会



10月28日 石垣島自衛隊関連防衛局要請



10月28日 玉城デニー知事就任1周年激励会



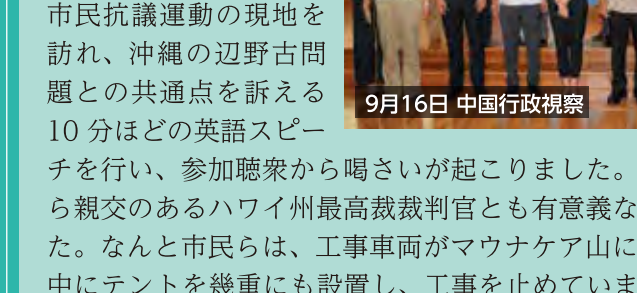
11月2日 首里城火災現場視察



11月9日 あい女性会議九州ブロック交流会 憲法講演



11月8日 第83回社大党大会



11月10日 伊江島交流会



11月16日 離島フェア2019



11月24日 ことりフェス

海外視察報告 ハワイ・中国

ハワイと中国（上海、青島、福州）という沖縄との歴史的関係もあり、将来にも関係するであろう2つの海外視察を行いました。

ハワイではTMT（30メートル望遠鏡の天文台施設）建設強行問題で揺れるハワイ島のマウナケア山（4000メートルを超える）の市民抗議運動の現地を訪れ、沖縄の辺野古問題との共通点を訴える10分ほどの英語スピーチを行い、参加聴衆から喝さいが起きました。この問題では以前から親交のあるハワイ州最高裁判官とも有意義な意見交換も行いました。なんと市民らは、工事車両がマウナケア山に向かう道路のど真ん中にテントを幾重にも設置し、工事を止めていました！警察は、強行することはできず、監視しているだけで、民主主義国家の片鱗をしっかりと見せていました。ここが日本との違いだと実感しました。

中国では、屋良朝博衆院議員の取り計らいで上海や青島など発展著しい中国のビジネス界の方々と懇談しました。福州では沖縄事務所の入るビルや琉球人墓を訪れ、福建師範大学の琉球歴史研究者らとの交流も深めました。沖縄だからこそ繋げる東アジアの平和構築への中心的役割があるというのを改めて感じました。



9月8日 ハワイ行政視察



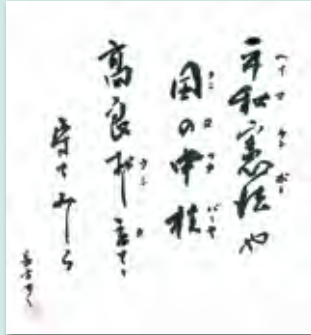
9月16日 中国行政視察

高良鉄美さんに期待を込めて

後援会顧問
瑞慶覧 長方



国家の基本は憲法である。その基本法である憲法が改悪されようとしている。憲法は、家に例えれば中心になる中柱(ナカバヤ)である。その中柱が虫食い状態にされたら家自体が壊れるのは目に見えている。どうしても中柱をしっかり守って健全な家を守らなければならない。



高良鉄美さんは、憲法学者であり、誰よりもその中身をよく知っており、沖縄における憲法九条を守る活動の代表者の一人として頑張ってきた。今回参議院議員に当選されたのは県民にとって喜ばしいことである。安倍政権の憲法改悪の企みを阻止し、「平和憲法や 国の中柱 高良おし立てて 守てみしら」

私は鉄美さんの父上、高良鉄夫先生の教え子になる。琉球大学の理学部(生物)の生物教養学や生理・形態等教えを受け、さらに四年次には鉄夫先生を団長として尖閣列島調査団のメンバーの一員として参加し、魚釣島・南小島・北小島等の調査に行った。それを報告書にまとめて「尖閣研究」という立派な本を出版したこと等思い出深い素晴らしい恩師でした。

鉄夫先生は島の自然と、平和を守り、鉄美さんは国の中柱、平和憲法を守り、国の将来を導いてくださることに敬意を表します。

一支援のお願い

高良鉄美の活動は、皆様からの個人献金(個人のカンパ)で支えられています。

献金は郵便振替が手数料が少なく、便利です。職業明記をお願いします。振替申し込み、住所、氏名、電話番号、職業、メッセージ等を記していただくと、後援会まで届きます。

口座名：高良鉄美後援会 会計責任者 高良克美

振込先	支店名	店番号	口座番号
ゆうちょ銀行 (郵便局からの振込)	—	—	01780-9-171205
ゆうちょ銀行 (他金融機関から)	一七九 (読み イチナナキユウ)	179	0171205

銀行振込の場合は、右記のQRコードから後援会ホームページのフォームに、住所、氏名、電話番号、職業、メッセージを記入し、お振り込み下さい。



活動報告 (2019年7月~12月)

- [7月] 7.24 当選証書付与式
 - 7.25 那覇市長表敬、南城市長表敬
 - 7.26 知事表敬、豊見城市長表敬訪問、嘉手納爆音訴訟司法要請集会
 - 7.27 本部町備瀬 角力大会
 - 7.28 大宜味 喜如嘉祭り
 - 7.29 北谷町長表敬、うるま市当選祝賀会
- [8月] 8.1 国会初登壇、本会議、憲法審査会、震災復興特別委員会、各政党挨拶まわり、高江政府交渉、国会開会式
- 8.2 沖縄等米軍基地問題議員懇談会、今帰仁村教育委員会国会見学
- 8.3 辺野古県民集会、八重瀬町支部 慰労会
- 8.5 法務委員会、東日本大震災復興特別委員会、本会議、沖縄県予算要請
- 8.6 国頭 激励会
- 8.7 南風原町支部 慰労会
- 8.8 印刷団地挨拶回り、翁長知事一周忌
- 8.9 糸満支部慰労会
- 8.11 沖国大ヘリ墜落15年抗議集会、大宜味夏まつり
- 8.17 対外問題研究会
- 8.18 糸数慶子さんお疲れ様集い
- 8.19 名護 激励会
- 8.20~21 宮古~多良間 挨拶まわり・行政視察
- 8.22 対馬丸慰霊祭、翁長さんを偲ぶ会
- 8.23 久米島 挨拶まわり
- 8.24 東アジア共同体学会
- 8.25 新婦人夏祭り、沖縄全島エイサーまつり
- 8.26 中小企業シンポジウム
- 8.28 高江 政府交渉・院内集会
- 8.30 伊波洋一激励会
- 8.31 沖縄平和学会、沖縄21世紀ビジョン点検
- [9月] 9.1 安里・大道・松川 島ぐるみ 激励会
- 9.2 社大党 沖縄防衛局 抗議・要請
- 9.4 WUB設立20周年
- 9.7 辺野古 県民集会、辺野古 海上視察、後援会事務所開き
- 9.8 大阪デニー 沖縄講演会
- 9.8~13 ハワイ視察
- 9.14 社大党 中軌
- 9.16~20 中国上海福建省視察
- 9.20 憲法講演会
- 9.22 令和元年度司法試験合格祝賀会
- 9.22~23 沖縄等米軍基地問題議員懇談会沖縄現地視察
- 9.27 「世界友愛フォーラム」会員限定勉強会
- 9.28 県労連 定期大会、高良鉄美 激励会
- 9.29 沖縄都市モノレール延長開業式・延長出発式
- 9.30 辺野古訴訟支援研究会勉強会
- [10月] 10.2 石垣激励会
- 10.4 臨時国会開会、本会議、ODA特別委員会
- 10.5 辺野古 県民集会
- 10.8 本会議
- 10.9 本会議
- 10.12 社大党 中軌
- 10.14 知事訪米激励会
- 10.15 弁政連・参議院議員当選祝賀会
- 10.16 「前衛」対談
- 10.19 九州大学同窓会講演会
- 10.20 大宜味郷友会一心会大運動会・APALA交流会
- 10.21 安田純平講演会
- 10.23 米軍基地問題議員懇談会総会・法務委員会理事懇談会
- 10.24 法務委員会(大臣所信)
- 10.26 沖縄愛楽園・園長杯ゲートボール大会・運天港まつり・美ら島講座講演会
- 10.27 産業まつり・本部郷友会大運動会
- 10.28 ワブ沖縄シンポアジア大会・玉城デニー知事就任一周年激励会
- 10.30 辺野古訴訟研究会
- 10.31 法務委員会(所信質疑)・首里城火災要請
- [11月] 11.1 内閣府沖縄担当大臣要請
- 11.2 辺野古県民集会、全糖労定期大会、首里城現場視察
- 11.3 沖縄県功労者表彰式典
- 11.5 社大党 沖縄防衛局抗議
- 11.6 共謀罪廃止(秘密保護法廃止16日行動、格差解消と消費税を考える会第一回勉強会)
- 11.7 法務委員会(大臣所信)
- 11.8 沖縄等米軍基地問題議員懇談会、社大党 定期大会、日本平和大会in沖縄 開会集会
- 11.9 日本国憲法と沖縄の現状について、満月まつり
- 11.10 秋の全島鶴牛大会、那覇港国際クルーズ拠点整備事業起工式
- 11.10~11 伊江島あいさつ廻り、
- 11.12 法務委員会、移住連省庁交渉(ヘイトスピーチ・人種差別)
- 11.14 法務委員会、入管の取容・送還問題の改善を求める院内集会、伊波洋一さんと語る会
- 11.15 本会議、沖縄県倫理法人会設立35周年式典・祝賀会
- 11.16 離島フェア2019
- 11.17 第5回アジア麺ロード
- 11.20 本会議、沖北委員会
- 11.21 法務委員会
- 11.22 本会議
- 11.23 広範な国民連合 軍事大国化でなく自立・アジアの共生へ
- 11.24 ことりフェス
- 11.25 沖北特委首里城視察
- 11.26 法務委員会
- 11.27 本会議
- 11.28 法務委員会
- 11.29 本会議
- 11.29 富士国際旅行社 創立55周年記念イベント
- 11.30 沖縄県身体障害者福祉大会、名護市議との勉強会、連合沖縄結成30周年記念レセプション
- [12月] 12.2 本会議
- 12.3 法務委員会
- 12.4 本会議
- 12.6 本会議、各種学校の外国人幼稚園への「幼児教育・保育無償化」適用を求める国会前緊急行動、普天間・米軍ヘリ部品落下事故に関しての要請、人権協会総会、瑞慶覧 チョーピン忘年会
- 12.7 辺野古 県民集会、屋良朝博忘年会
- 12.9 法務委員会、ODA特別委員会、憲法審査会
- 12.12 種子法シンポ
- 12.14 当山勝利 議会報告会、伊波洋一後援会忘年会
- 12.16 沖縄県財政勉強会
- 12.20 日本科学者会議講演会
- 12.22 鳩山勉強会
- 12.25 北部訓練場返還跡地視察